

まえがき

このたび本ソフトウェアをご購入下さいましてありがとうございます。

土木構造物の設計をおこなう上で多くの文献、資料そしてソフトウェアが必須の条件となっております。このような条件のもとで近年、ソフトウェアのめざましい開発が進み、設計もより迅速化が図られております。

しかし、設計作業の条件が整備されるにつれて設計報告書はソフトウェアからの出力のみが列記され、発注者側も設計計算の経緯等について不明で極めて分かりづらいものとなっております。とくに公共工事にあっては会計検査等で説明に苦慮する場面が多くなっているのも現状です。

また、設計した技術者も多くの業務をかかえソフトウェアに頼らざるを得ないのが実状で、発注者側から説明を求められても即座に答えることができず、ここに、両者のコミュニケーションが欠落する結果を招いております。

さらに、ソフトウェアばかりに頼りブラックボックスの多い設計をおこなっているのは、わずかな入力ミスでも重大な過失を生じる懸念があり、また基礎技術力の低下にもつながっていくことも懸念されます。

このソフトウェアは、設計計算のブラックボックスの解消を目的として作成しております。したがって、設計に熟知された技術者にとってはこの程度の内容なら十分頭の中に入れておられると思いますが、このソフトウェアを若手技術者の育成にあっては技術指導書として活用され、また、既存のソフトウェアの出力結果と照合することにより二重の照査ができます。

このソフトウェアは、表計算ソフトで最も多く汎用されている「Excel」で作成しています。「Excel」はほとんどのパソコンに導入されており、これまでの設計作業で複数のソフトウェアを使用する煩わしさも解消されると思います。また、汎用ソフトであることからこのソフトウェアをカスタマイズすることにより、設計のプレゼンテーションが一層向上することと考えております。

このソフトウェアは「樋門設計」を内容として作成しておりますが、ボックスカルバートやL型擁壁の設計計算も含んでおり多様性に富んだ内容となっております。近年の情勢から、新規の公共事業は減少するものと思われませんが既存施設の改良や応急対策が必然的に多くなってくると思われ、この施設の安全度をはかる上でこのソフトウェアの活用は有効な手段と考えております。

最後に、このソフトウェアの製作ではコストダウンを図るため「CD-ROM」のみの販売としましたことをご了承ください。また、このソフトウェアのご使用にあたってのご意見やご要望等をいただければ幸いです。これらを集約しさらに効果的で効率的なソフトウェアに進んでいくことを願っております。

平成29年3月
株式会社 ミドルサード
「土木構造物の設計」開発チーム一同

[「スタートメニュー」に戻る](#)